

【学校教育目標】

心豊かに たくましく 共に学び伸びる「けやきっ子」の育成

【研究主題】

自ら考え、論理的に表現することができる児童の育成
～数学的表現様式の変換を通して～

ノートの活用力の向上

- ・ 数学的表現様式を用いて自分の考えを書く。
- ・ 友達の考えから学んだことを自分のノートに書き足す。
- ・ ノートに振り返りを書き、自分の学びを記録する。

交流場面の充実

- ・ 数学的表現様式を変換して学び合える場面の設定を行い、学び合いの質を高める。
- ・ 自他の考えの同じところや違うところから多角的に学び、学習を深めることができる力を養う。

【研究仮説】

教師が、算数科の系統性をとらえ、各単元のつながりを意識した学習展開を仕組めば、児童は既習を用いて考え、数学的表現様式を用いて自分の考えを表現することができる、児童一人一人が自ら考え論理的に表現する力が育つであろう。

朝ドリル

けやきっ子
タイムの取組

指導のスタンダード
の徹底

学びの系統性
の整理

基礎基本の定着